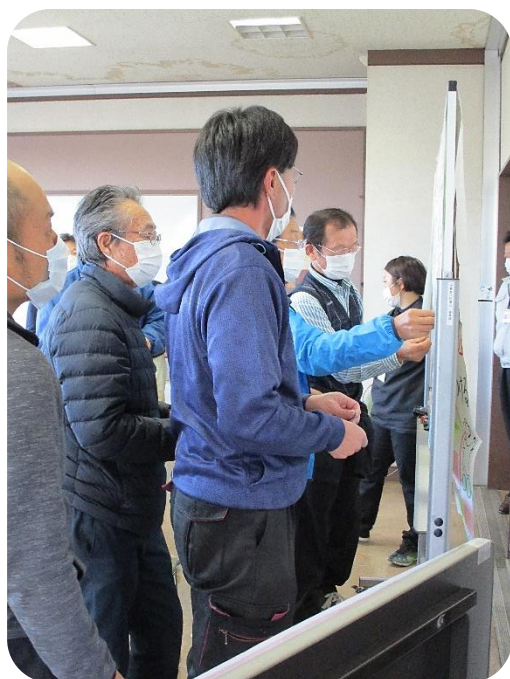


これからの農地・農業を考える ≡ ワークショップ記録集



～この記録集は、2021年2月18日(木)に農業者のみなさん
たちと一緒に明るく前向きに中身濃く話し合った記録です。～

【開催趣旨】

このワークショップは、認定農業者連絡協議会のみなさんと

五霞町の農業を元気にさせることについて

「これだけは大事にしていきたい」「これはやっていきたい」
をみんなで考えてえてみよう！という想いから開催されました。

話し合いは、地域の中心経営体である認定農業者（担い手）・農業委員さん・JA・土地改良区（五霞資源保全協議会）・町の職員（農業委員会・産業課）など様々な人が集まり、前向きにこれからの農地・農業のことを語り合う「対話型報告会」形式で行いました。

この「対話型報告会」の特徴は、**笑顔がいっぱいで「楽しい」**ということ。でも、ちゃんと**中身濃い話し合い**ができるということです。

【主催者】

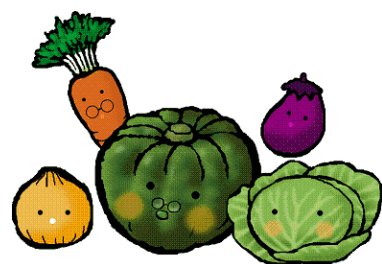
五霞町農業委員会

五霞町認定農業者連絡協議会

五霞町産業課

【運営・進行】

五霞町産業課（事務局）



本来なら『これからの農地・農業をみんなで考える座談会』では他の参加者の意見や想いに耳を傾けながら、気楽に・楽しく・中身濃く話し合える座談会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況から、令和2年11月・12月開催予定の座談会を延期、令和3年1月・2月の予定も中止とする判断をせざるを得ない状況となってしまいました。

ご参加を予定していただきました方々におかれましては、大変ご迷惑をおかけしました<(_ _)> その際は、またみなさまにお声がけさせていただきます。

引き続き五霞町では、対話の場・様々な話し合いの場の運営・実践を経験していることから、その強みを活かし、引き続き「農地」だけでなく「これからの五霞町の『農業』がどんな風になっていったらよいか」みなさんと一緒に考えていきたいと思っております。

2021.02.18Thu15:30~16:30 @役場 2 階 第3会議室 13名参加

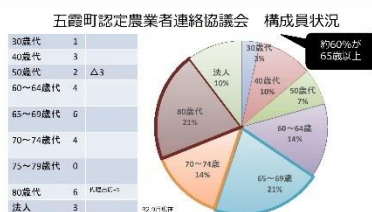
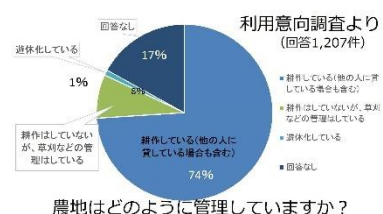
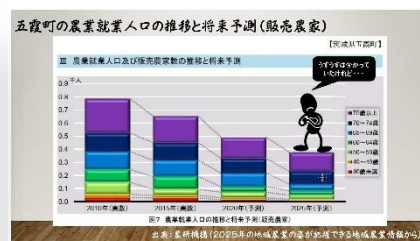
農業委員会会長の挨拶からスタート！
今回は、トータル約 60 分。



参加ありがとうございます！

まだ不安ですねー

まずは、**五霞町の農業**について、調査結果など**報告**です。



次に、
今までの様々な調査結果などから出てきたワードについて、
共感できるものに**投票タイム**！



共感シール 1人**3票**！



調査内容の報告を受けて、共感できるな～に投票したものを見て
これからのことを考えて・・・

ちょっと**気になること・これも！**と付け足したいこと

について、話し合ってもらいました！

①個人でフセンに書き出して・・・



②1枚ずつ説明しながら、紹介していきます。



短い時間で

約50枚フセンが

出ました～(*_*)

そして、みんなで発表タイム！

グループでどんな話が出ていたのか紹介していきます。



☆投票Time☆

発表を聴いたあとは・・・

五霞町の農業を**元気にする**ために、

「これだけは大事にしたい」や「これはやっていきたい～」

といものに**投票**します。



いい意見ばかり！
悩む～

テーマ：五霞町のこれからの農業・農産物・農産物加工品について
「これは大事にしたい」「これはやっていきたい」
～各グループの発表を基に集めた～

したいと思うもの	投票数
農業経営の安定化	6
6次産業化	6
後継者の確保	6
道の駅ごきと拠点に	6
農業に魅力をつくる	10



『見て・聴きあって＆笑顔』

のワークショップとなりました～



参加された皆さん、進行にご協力いただき、ありがとうございました(*^_^*)このあとも、紹介しあった「模造紙」をご覧ください♪

各テーブルの模造紙↓↓↓

- 発信力の強化
- どう後継者を見つけるのか
- 個人農家も大切に
- 担い手は高齢者が多い。若い人を発掘する
- 地域ごとの共同体もいいのではないかな

- 道の駅ごかの販売力強化
- 販売拠点を道の駅以外があった方がよい
- 農業で家計を支えるには規模拡大が必要
- メインとなる作物をつくる
- 安定してつくれる
- 販売が安定している

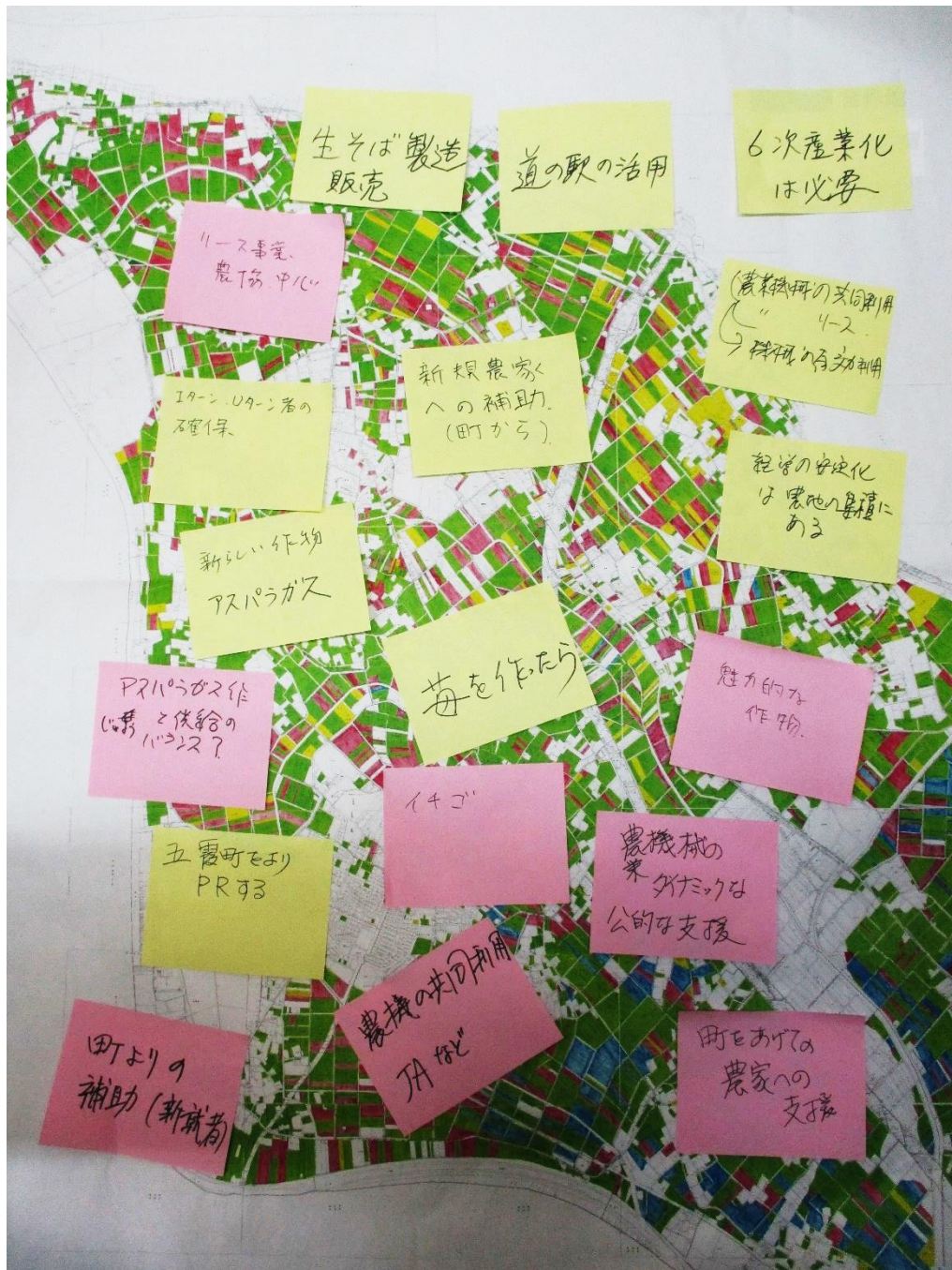
順番に意味はありません(ム)



すみつかれ



- 半農半Xで農業の門戸を開く
- 手続きについて
- 経費について
- 限られた人数(家族など)である程度の規模をこなすには、設備投資が必要
- 経費について
- ネット販売
- 朝市はどうか
- 生産者と消費者 ダイレクトに結ぶ



- 魅力的な作物
- 五霞町をよりPRする
- イチゴを作ったかどうか
- 新しい作物(アスパラガス)
- 新規農家への補助
- Iターン・Uターン者の確保
- 農機の共同利用(JAなどで)
- 農機械のダイナミックな公的な支援
- 町をあげての農家への支援
- 経営の安定化は農地の集積にある
- リース事業(JA 中心)
- 6次産業化は必要
- 生そば製造販売
- 道の駅の活用
- 企画の有効利用(共同利用・リース)

順番に意味はありません(´▽｀)

さつまいも





けんちん汁



- 後継者に技術を教える
- 農業のおもしろさ
- 担い手の確保
- 個人農家が耕作できる人が少なくなる
- コロナで家庭菜園的なものが見直されるのでは?
- 土地利用率を上げる(2年3作など)
- 農業者への援助
- JAの協力
- ブランド米の促進
- 今あるものだけでなく新たに地域としてブランド化を目指す
- インフルエンサーによる発信

入力順に意味はありません(ム)

ランキング

これは参加者が、今までの様々な調査結果などから出てきたワードに共感できるものに投票！

そこから、「**これからの五霞町の農業のこと**」を考えて・・・

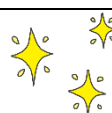
ちょっと気になること・これも！と付け足したいことについて、話し合ってもらいました！出された**約50個**のアイディアの発表を聞いたあと・・・

最後に、**五霞町の農業を元気にするために**

「**これだけは大事にしたい**」や「**これはやっていきたい～**」といものに投票した結果です。



【ランキング結果】

1位 (11票)	農業後継者の確保を
2位 (10票)	農業に魅力をつくろう～！ 
3位 (6票)	道の駅ごかを拠点に・・・ 
3位 (6票)	農業経営の安定化
5位 (5票)	6次産業化



<注意> ここで出されたアイディアはすぐの実行するためというより、今後の五霞町の農業を考えていくための「**アイディアのネタ**」としていきます。

